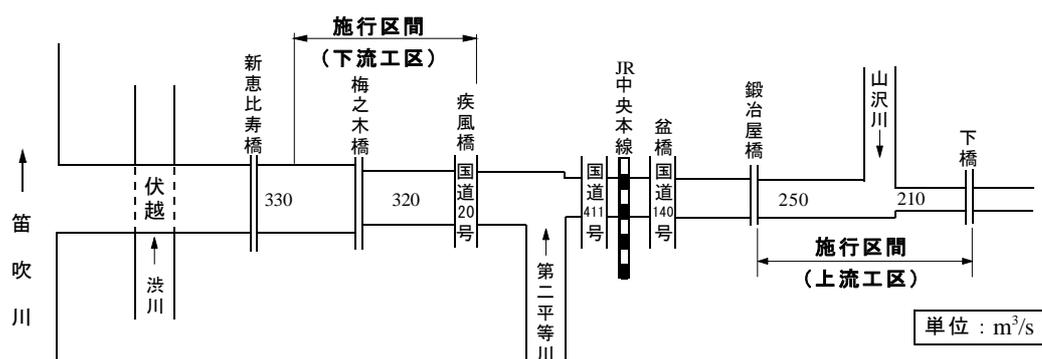


(9) 平等川

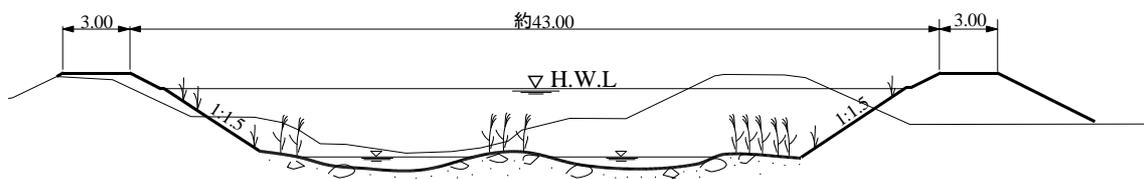
平等川の国道 20 号疾風橋付近より下流部については、笛吹川の計画高水位を考慮した築堤河川です。その上流では堤防高も次第に低くなり、左岸側支川だいにびょうどうがわの第二平等川などは掘込み河道になっています。このような上下流の河道特性や地形条件を考慮し、目標とする治水安全度は、下流工区で年超過確率 1 / 50 年規模、上流工区で年超過確率 1 / 30 年規模の洪水を考慮して、計画流量は、笛吹川合流点において 330m³/s (W=1/50) とし、河道で 330m³/s を計画高水位以下の水位で安全に流下させるものとします。

河川工事の実施にあたっては、河床に瀬や淵が形成されるよう起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保するなど、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多様な河川環境の整備を図ります。

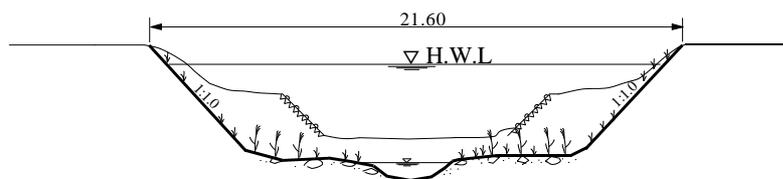
河川工事の施行の場所		河川工事の内容
下流工区	新恵比寿橋上流～国道 20 号疾風橋 L = 約 2,400m	掘削、護岸工、築堤、橋梁、堰等
上流工区	鍛冶屋橋上流～下橋 L = 約 2,100m	掘削、護岸工、橋梁、堰等
合計	L = 約 4,500m	



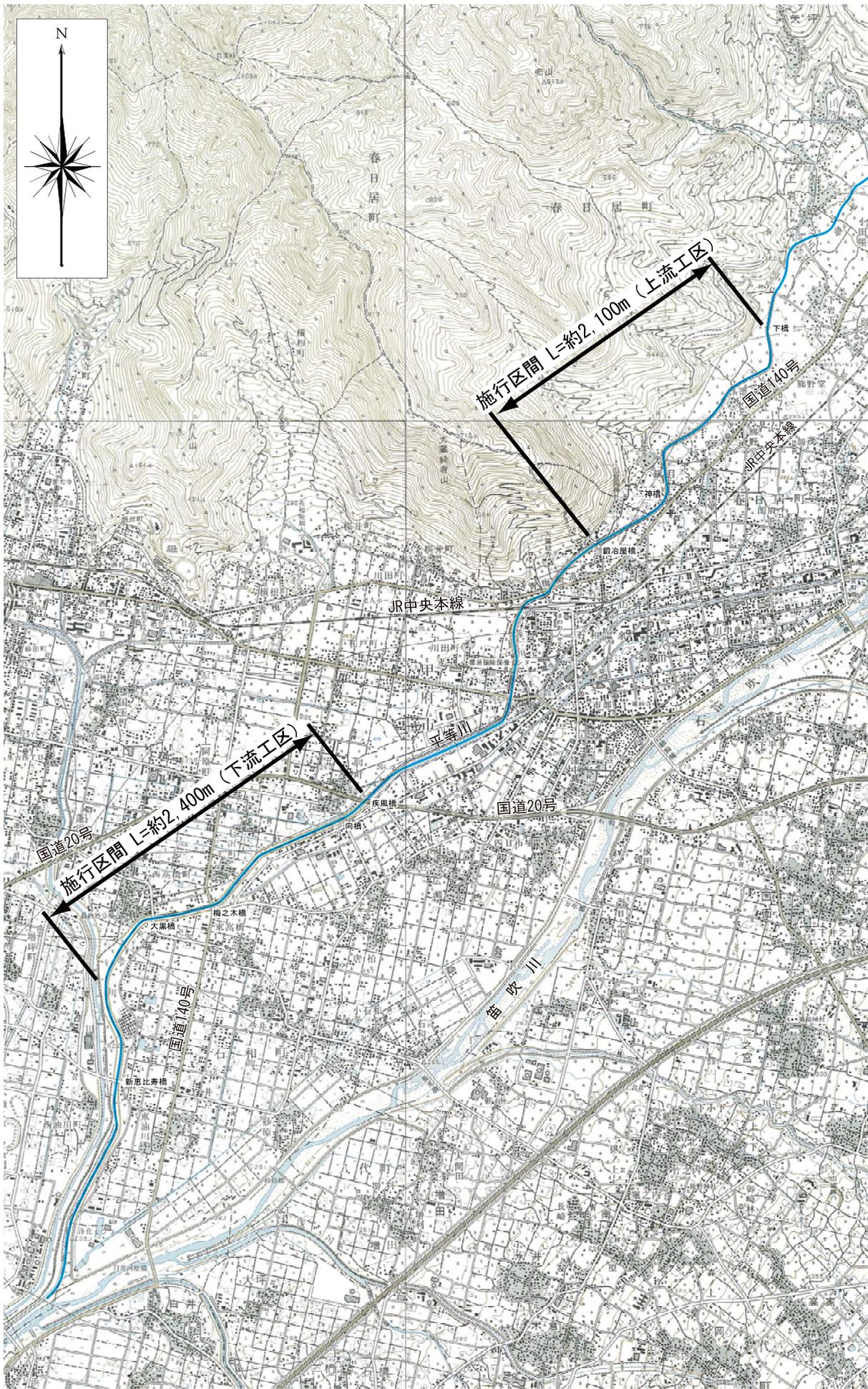
平等川計画流量配分図



下流工区「梅之木橋」下流付近



上流工区「鍛冶屋橋」上流付近



河川工事の施行位置図（平等川）